

リレー 随 想

第1回

福岡いのちの電話評議員

野田フミコ

(福岡県更生保護女性会会長)



人との出会いの日々、今なお

私の人生は素晴らしい人との出会いから始まりました。

更生保護女性会では中央研修といって一生に一度しか参加できない研修があり、そこで全国の会長・島津久子会長に出会いました。まるで浮世絵でも見るような姿にうっとり。「天に星 地に花 人に愛」。そしてボランティアは、常に感謝してさせていただくということを忘れないようにとのお言葉、私のボランティア生活はそれから始まりました。

「みなさん始めまして」。毎日のように人との出会いがあります。犯罪や非行防止、母親の立場から立ち直りを支えるという更生保護女性会や保護司のボランティア活動を行って参りました。全国17万の会員や仲間と犯罪をおかした人や青少年たちに「人は一人では生きられない」と教えてきましたが、自分たちの方がいろんな人に教え育てられてきたように思います。

私の変らぬ指針は「出来る人が、出来る時に、出来ることを、急がず、あせらず、あきらめず、楽しく元気にボランティアしましょう！」というもので、この指針のもとに活動してきました。ところが、今、こ

の年齢になって、自殺予防を使命とする「いのちの電話」に出会いました。

五斗常務理事のお誘いで評議員をさせていただき、まだ2年にしかありませんが、こんな素晴らしいボランティア団体があったのかと「目からウロコ」とでも言いましょうか、感動しました。講演会や相談員との交流会に参加するたびに、シナリオのない命に関する相談の電話、Line、インターネットのことを熱く語られる姿を見て、私だったらと考えた時、果たして受話器を取れるだろうかと思いました。世界のどこかで40秒に一人が自殺で亡くなっている。日本でも年間3万弱もの自殺者がいるなか、年中無休でボランティア相談員が心を支えていらっしゃいます。

定年退職を期に「いのちの電話」の養成講座に参加した方などに会う時、今なお、胸がときめきます。新しい「いのちの電話」の人との出会いをさらに深め、これからも私なりに人と出会い続けながら、人の喜ぶ、人の役に立つ生き方をしていきたいと思います。

今まで会えたすべての人に感謝し、これから出会う人を夢見ながらペンを置きます。

チャリティイベント

里帰り
納涼寄席



8月4日(火)九州キリスト教会館において、福岡いのちの電話後援会主催による、落語家3人による寄席が開催されました。福岡いのちの電話では初めての試みでした。

出演は、関西を中心に活躍されている露の団四郎さん、笑福亭 恭瓶さん、笑福亭 風喬さん。

会場は軽妙な仕草と笑いの数々に、満面の笑顔が広がりました。